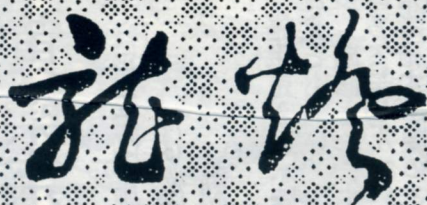


第 3 号

発行所 大阪市史跡 龍溪禅師墓所
 霊亀山 九島禅院
 〒550 大阪市西区本町3丁目4-18
 ☎06-583-2725
 住職 奥田啓知(智證)



ジャイアンツエイド と仏教の教え

ジャイアンツエイドって知っていますか。そう、ニュースステーション(テレビ朝日)で、キャスター久米宏さんと漫画家黒鉄ヒロシ、コピライターの糸井重里さんたちで、巨人軍が優勝するかどうかを占うことが恒例となっています。去年、巨人軍の優勝で一応のピリオドになりましたが、ご存じな方も多い事でしょう。

一昨年、久米宏さんや、当時日本テレビの徳光アナウンサーが坊主頭になったことで世間の耳目を集めました。ことほど左様に、昨今は占いブームです。「天中殺」や「大殺界」などプロ野球の優勝チームを予測し的中させた占い師の著書がベストセラーに登場し、立志伝に数えられるにいたっては、何をか云わんやです。

仏教では「因果果報・自業自得」を根本理念とし、自分自身の自業(行為)が自得(環境)をきめると説かれています。これから考えると、運命とは、前世から運ばれた業により、この世の命を定めると考えられます。このことは、私たちが現世でつくった業が、そのまま来世につながることになるのです。でも、そのことは同時に、このよ

うな宿業(前世の行為)の報いはあるにはあるが、私たちの努力がいかによっては、新しい善業をつくって古い悪業を打ち消すことができるのです。勿論、それはなまなかの努力ではできませんが、その救いの可能性において、仏教における業の教説は決して宿命論ではないのです。

誰しも、自分の運勢を知り、災難、失敗などから逃れたいと考えます。そのこと自体は、何ら問題はないのですが、占い好きの方々は、占いを重視するあまり、人生においての失敗や災難は運命のなせるわざと思いとすれば自分のせいとはせずすべて運命のせいと片づけてしまいがちなのです。これは大きな間違いなのです。失敗、災難すべて自分のせいとしなければ仏教を学んでいる意味はないのです。そこに、昨日への反省、明日への向上が生まれてくるのです。

私たちは、困難や災難から逃れようとするのが常ですが、そうではなく、苦難を受け入れる心の準備が出来ることこそ、本当の幸せといえるのではないのでしょうか。



